



兵庫県

兵庫県のスマート農業推進状況について

兵庫県 農林水産部
農産園芸課

Contents

Chapter 01

ひょうごスマート農業推進方針と
県内の導入状況

Chapter02

令和5年度スマート農業の支援状況



ひょうごスマート農業推進方針

1 現状と課題

- ① 小規模な兼業農家が多数を占める
- ② ひょうご五国の多様な気候・風土に根ざした多彩な農業が展開
- ③ 農業就業人口の80%が65歳以上
- ④ 1経営体あたりの経営耕地面積は全国平均の半分以下
(兵庫県：120a 全国310a)

2 2030年の目指す姿

農のスマート化による新たな農の姿が実現

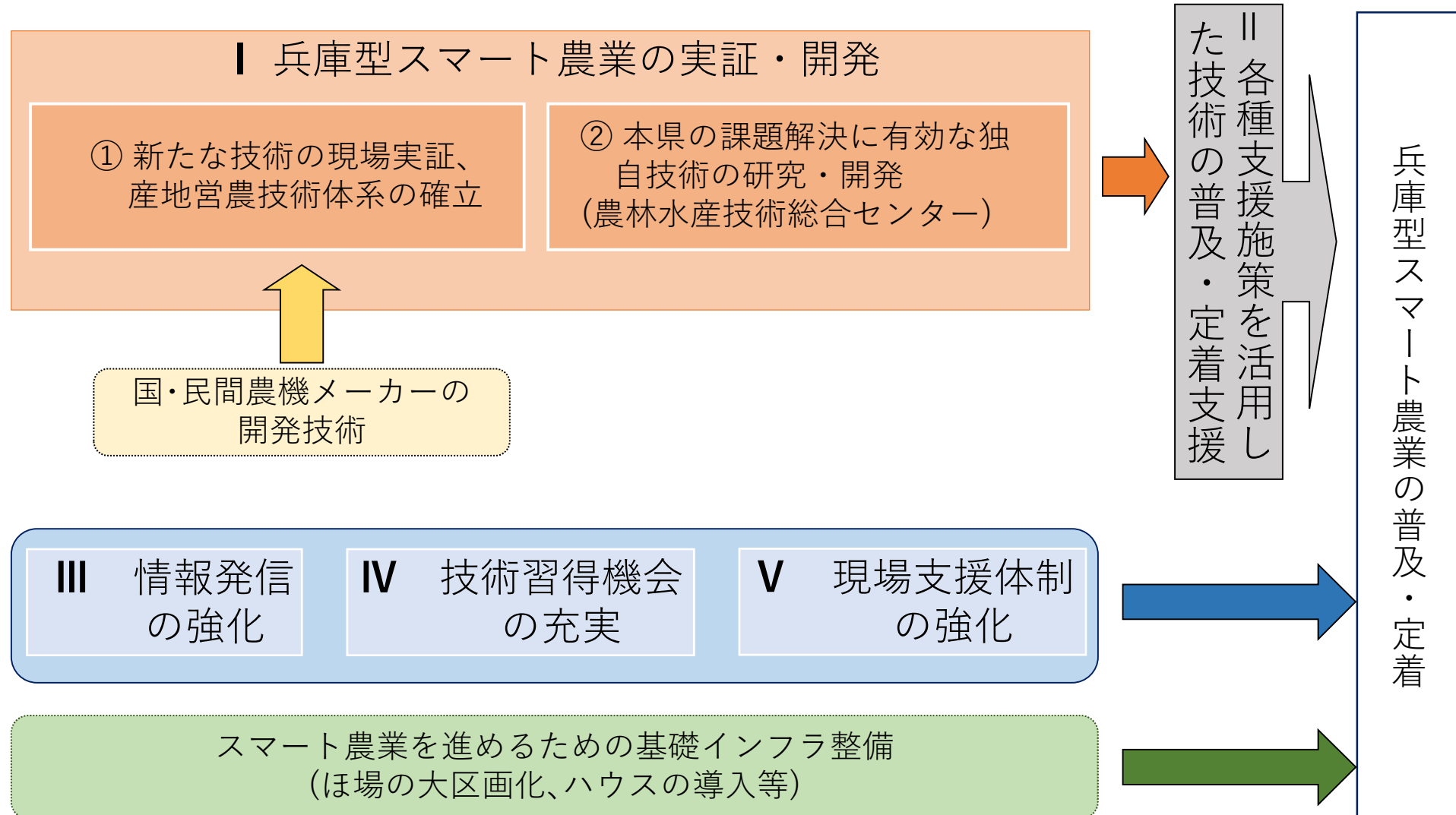
- ① スマート農業技術の活用が進み、省力化・効率化が実現
- ② 環境制御技術を活用した次世代施設園芸が普及し、高品質な野菜・花きの安定生産の拡大

目標

- ① 土地利用型作物におけるスマート農業技術導入面積
100.2ha(2018)⇒12,000ha(2030)
- ② 施設園芸における高度な環境制御技術の導入面積
13.6ha(2018)⇒60ha(2030)

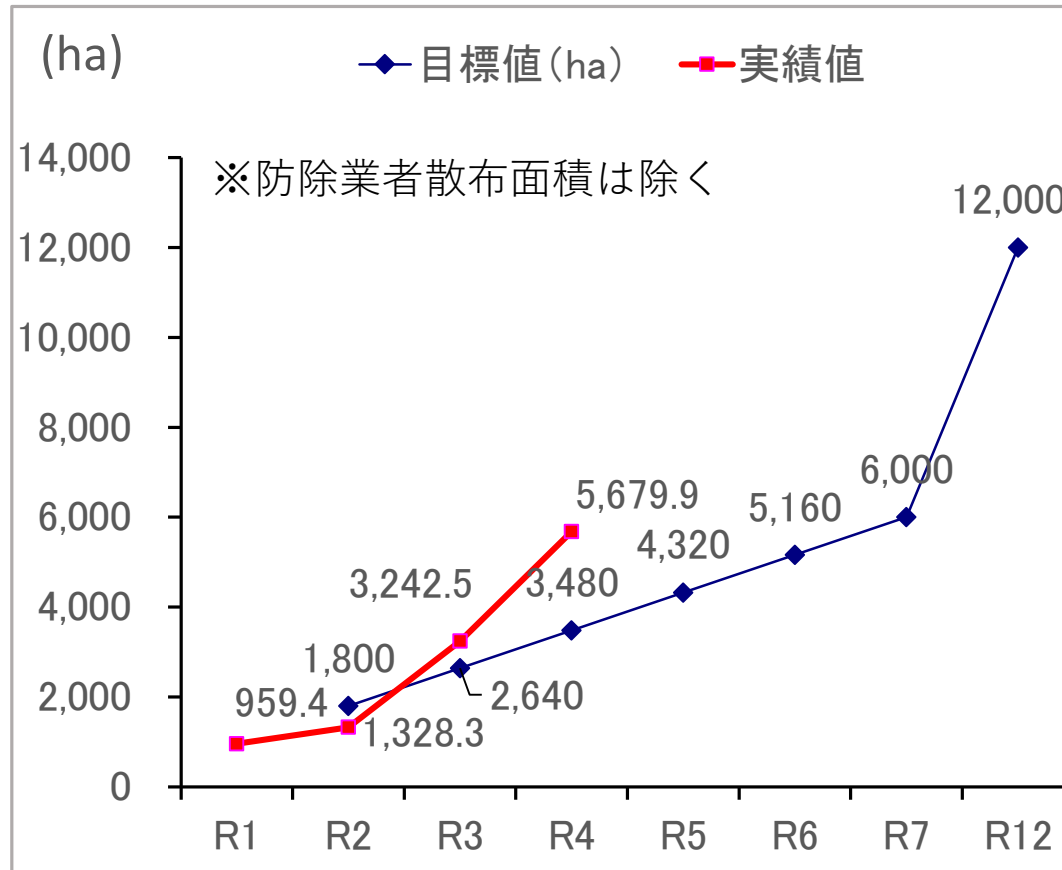
これからのスマート農業の推進

ひょうごスマート農業推進方針における推進イメージ



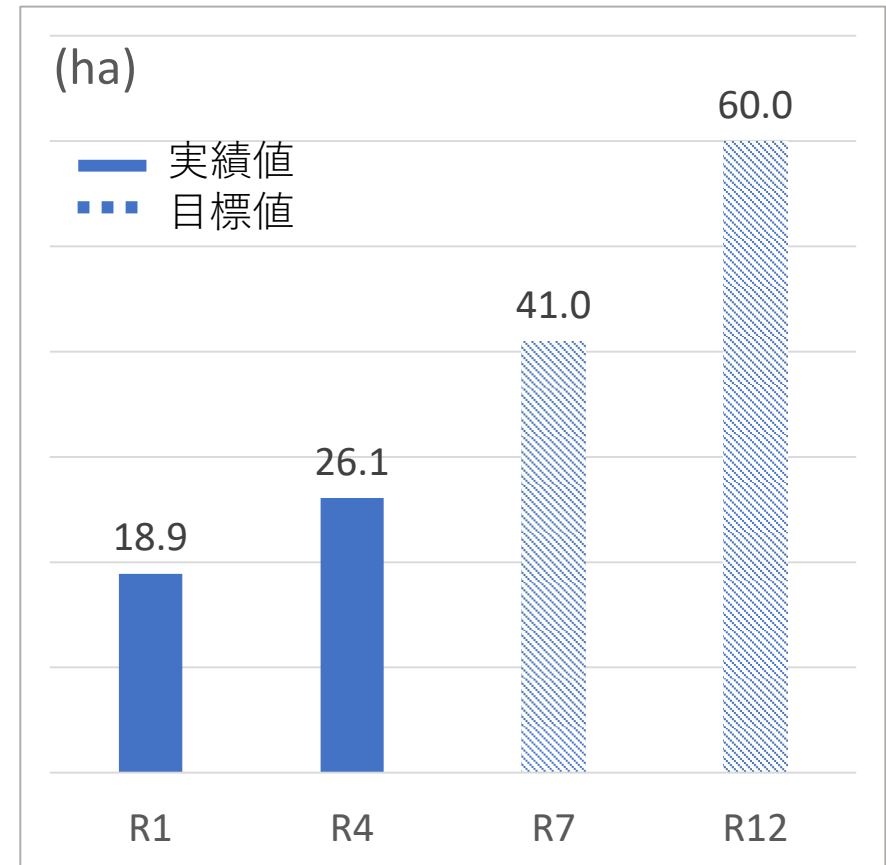
兵庫県のスマート農業導入状況

スマート農業の導入面積の推移



- 令和2年度より急速に普及し、目標を上回るペースで導入が進んでいる。

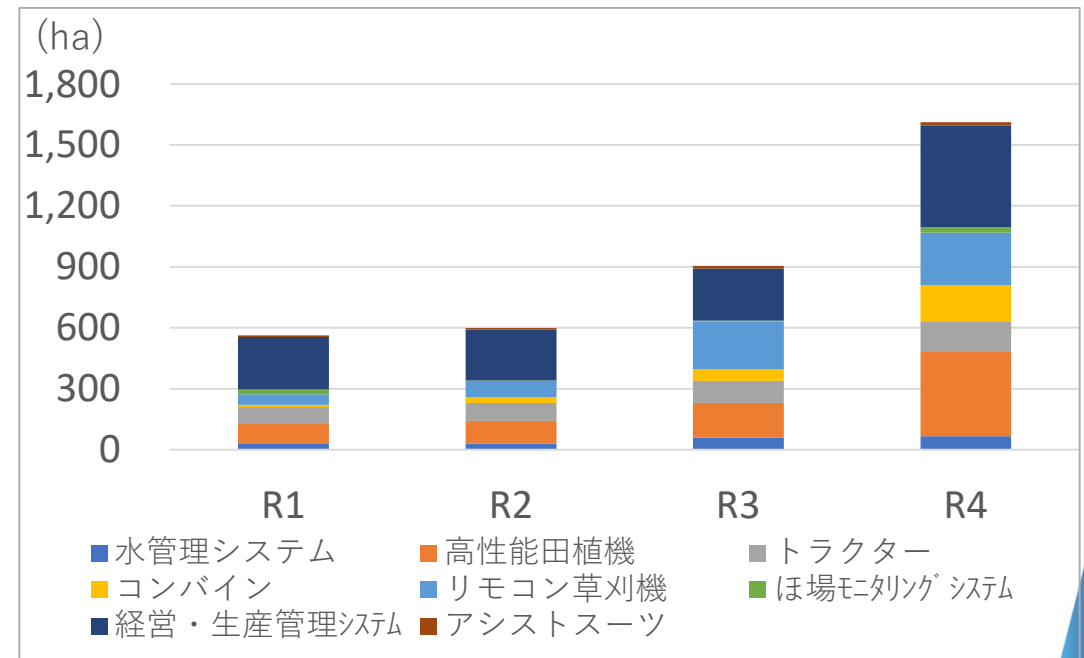
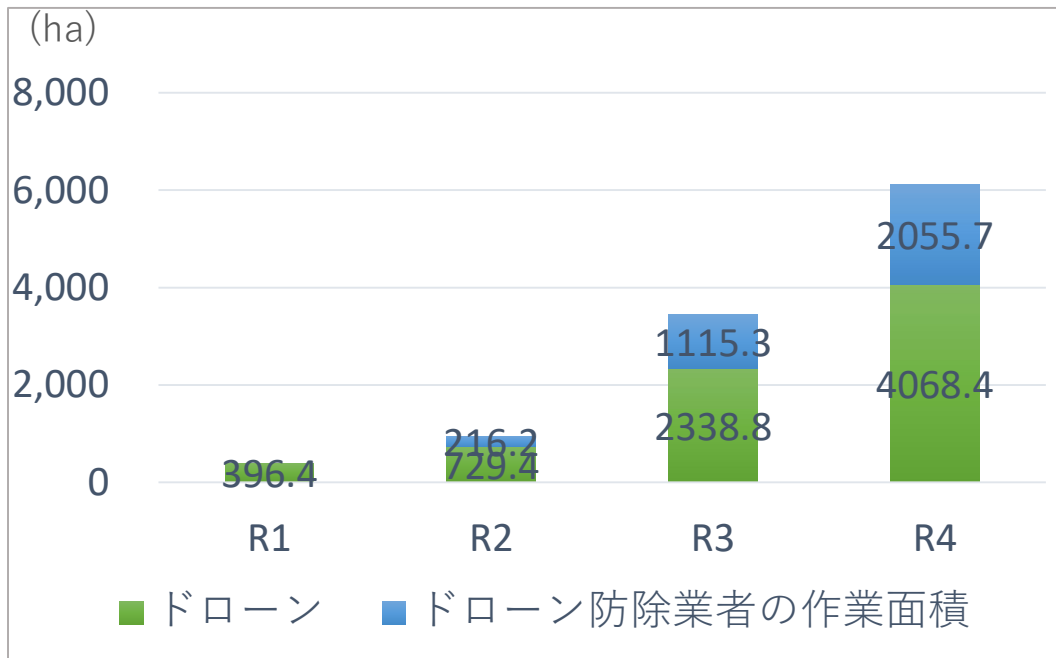
施設園芸における環境制御技術の導入面積



- 導入実績のうち全体の約6割がトマト、約3割がイチゴ。

兵庫県のスマート農業導入状況

スマート農業技術ごとの導入面積の推移



- ・ドローンの利用が最も多く、農薬散布で利用が拡大
- ・農業支援サービス（ドローン防除業者）の利用が広がっている。

ポイント

- ・農業支援サービス利用のメリットは？
- ・機械導入コストの節約
- ・作業労力の削減
- ・操縦技術の習得、ドローン飛行に関する各種手続きの必要なし

- ・経営・生産管理システムが増加の傾向にある
⇒理由：比較的安価に導入できる
可変施肥や経営管理が注目されている。
- ・コンバインやトラクターも導入が進みつつある。

令和5年度兵庫県スマート農業普及に向けた取組

スマート農業に取り組んでいただく際のよくある悩み

高価な導入コスト

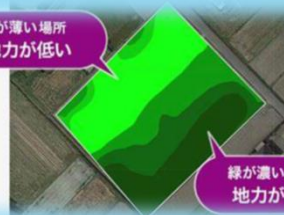


情報不足・導入への不安



課題解決のためにスマート農業が
どのように役立つかわからない

緑が薄い場所
地力が低い



緑が濃い場所
地力が高い



令和5年度兵庫県のスマート農業普及に向けた取組

スマート農業に取り組んでいただく際の支援

高価な導入コスト

☆機械のシェアリングの導入支援
産地低コスト化促進事業(農産園芸課)

☆機械導入費の補助
農業生産コスト低減緊急対策事業
(農業経営課)

スマート農業の情報不足



普及センターへ相談
県内の実証情報の提供
や実演会の開催も行い
ます。導入に向けた実
証にも取り組める。

スマート農業を使った課題解決方法の提案

兵庫県スマート農業技術マッチング推進事業(総合農政課)

兵庫県スマート農業技術マッチングプラットフォーム

わく・わく!ひようご!



プラットフォームと民間コーディネーターにより企業と産地を
マッチング。普及センターが産地課題をコーディネーターにつなぐ
役割を担う。

令和5年度兵庫県のスマート農業普及に向けた取組

スマート農業に取り組んでいただく際の支援

高価な導入コスト

☆機械のシェアリングの導入支援
産地低コスト化促進事業(農産園芸課)

☆機械導入費の補助
農業生産コスト低減緊急対策事業
(農業経営課)

スマート農業の情報不足



普及センターへ相談
県内の実証情報の提供
や実演会の開催も行い
ます。導入に向けた実
証にも取り組める。

スマート農業を使った課題解決方法の提案

兵庫県スマート農業技術マッチング推進事業(総合農政課)

兵庫県スマート農業技術マッチングプラットフォーム

わく・わく!ひようご!



プラットフォームと民間コーディネーターにより企業と産地を
マッチング。普及センターが産地課題をコーディネーターにつなぐ
役割を担う。

令和5年度兵庫県スマート農業普及に向けた取組

シェアリングによって導入コストの低減と機械利用面積の拡大

● シェアリングの必要性

【課題】

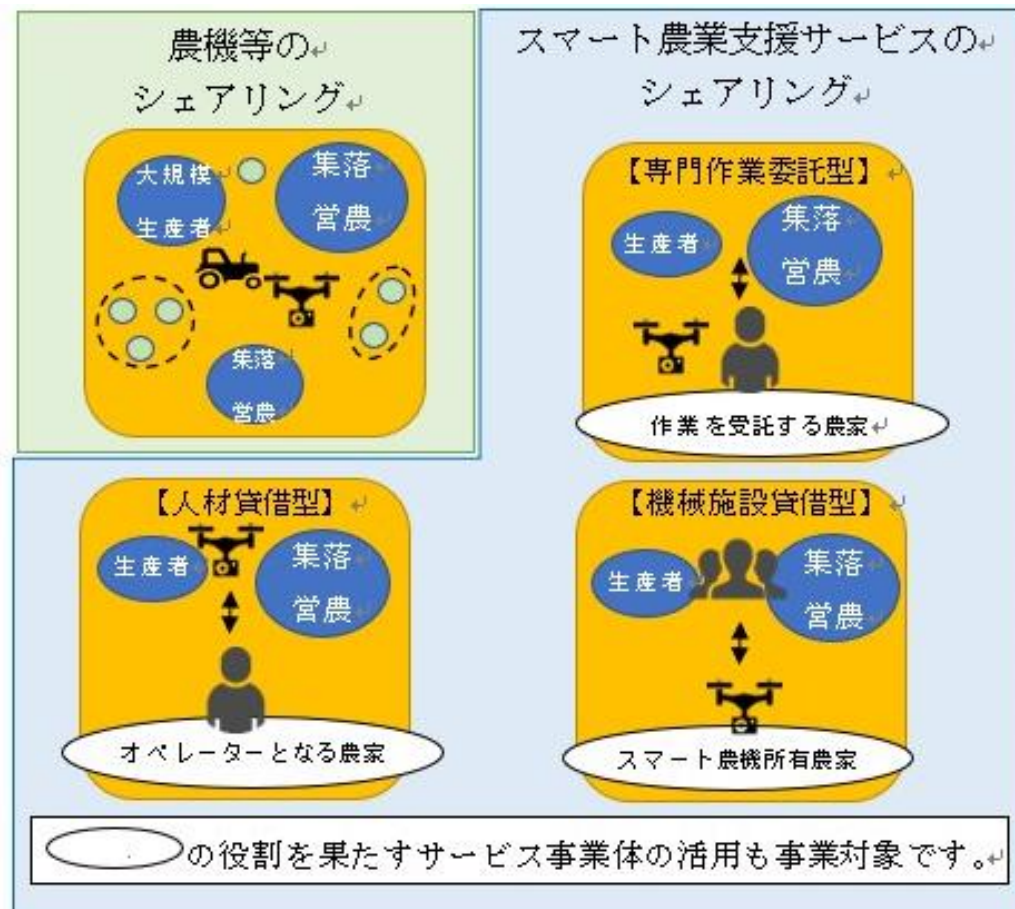
スマート農業の導入により生産性が向上するが、高額な導入コストやオペレーター不足により導入に踏み切れないケースがある。

【シェアリングのねらい】

産地を支える多くの経営体が機械のシェアリングに参加することで1人あたりの導入コストの軽減やオペレーター不足の解消を目指す。

【シェアリングの種類】

- ①機械を部会等で所有し、会員が利用する。
- ②機械の所有者が作業を請け負う。
- ③機械を所有し、オペレーターを雇う。
- ④機械を所有する生産者が貸し出しする。



令和5年度兵庫県のスマート農業普及に向けた取組

シェアリングによって導入コストの低減と機械利用面積の拡大

● シェアリングに取り組む際の課題

✓ 機械の管理方法の検討

故障時の対応や使用方法のルールづくり

✓ 使用スケジュール管理の検討

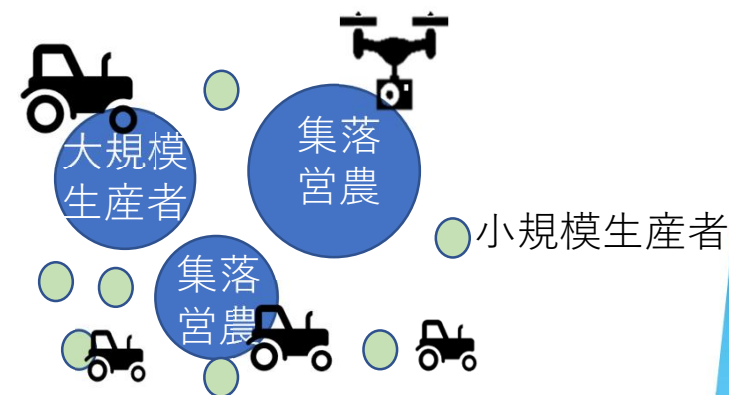
利用者が必要なときに使えるようにスケジュールの共有方法を定める。

✓ 利用料金の設定

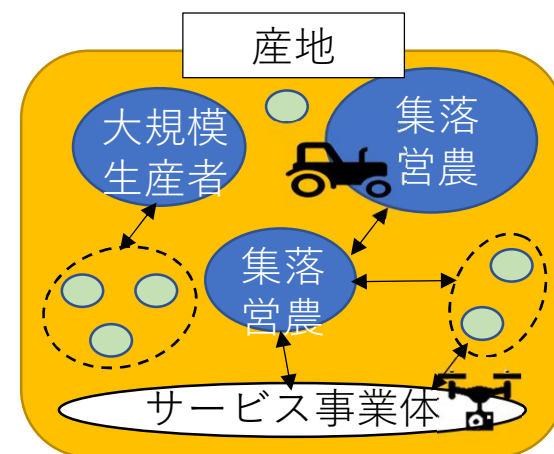
シェアリングによる健全な機械の運用のための料金を設定する。

ポイント

機械のシェアリングは使用者同士の調整が複雑化する。しっかりとしたルール作りから始める必要がある。



地域でそれぞれが利用していた機械を
地域全体で利用します。



令和5年度兵庫県のスマート農業普及に向けた取組

シェアリングによって導入コストの低減と機械利用面積の拡大

● 事業を活用してシェアリングの検討を行った事例

（事例1）新温泉町

取組者	野菜生産者による協議会のうち 参画者5名（南あわじ市）
取組面積	457a
シェアリングした機械	乗用全自動野菜移植機 ハイクリブーム
機械の利用料金	移植機 500円/1a ハイクリブーム 200円/1a

（事例2）洲本市

取組者	生産者と普及センターで構成する協議会
取組面積	中山間地 1ha
シェアリングした機械	ドローン・リモコン草刈機
取組の目的	地域の3Dマッピングを基に草刈機のシェアリングの検討

令和5年度兵庫県スマート農業普及に向けた取組

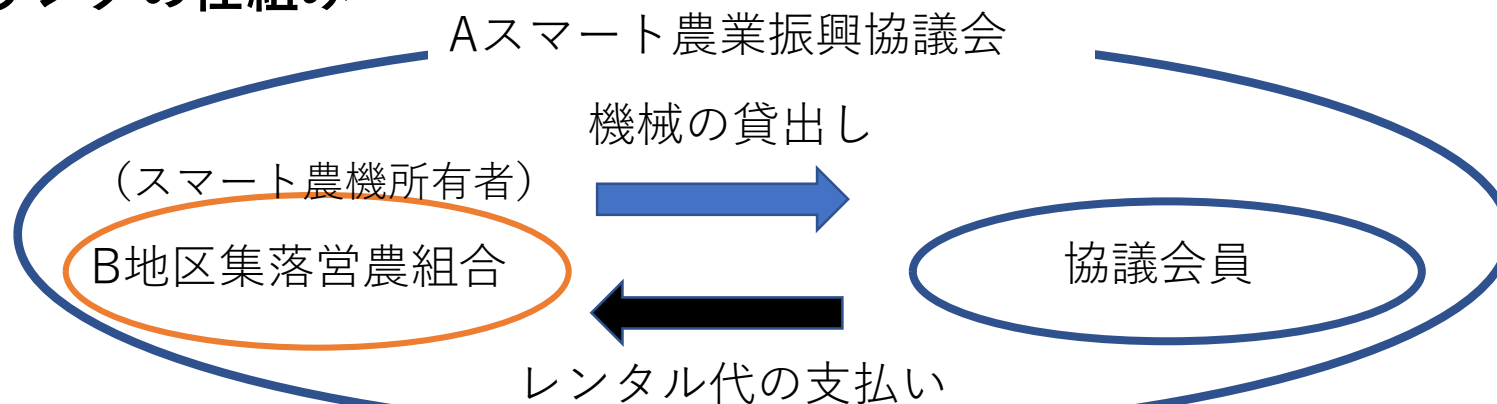
シェアリングによって導入コストの低減と機械利用面積の拡大

● 産地低コスト化促進事業によるシェアリングの事例（とりまとめ中）

（事例3）新温泉町

取組者	生産者とJA、町、県で構成する協議会
取組面積	法面6ha
シェアリングした機械	リモコン草刈機
取組の目的	急傾斜法面における作業コストの軽減

◇ シェアリングの仕組み



令和5年度兵庫県スマート農業普及に向けた取組

シェアリングによって導入コストの低減と機械利用面積の拡大

● 産地低コスト化促進事業によるシェアリングの事例（とりまとめ中）

◇ シェアリングによるコスト低減効果の目標

作業時間の軽減によってコスト70%を削減

リモコン草刈機のレンタル代は5,000円/10aに設定

コスト低減と急傾斜地の作業削減を検討している。

◇ 事業実施内容

- 1 シェアリング実施検討会議
- 2 シェアリング実施規約の作成
- 3 リモコン草刈機の地域適応性の確認
- 4 シェアリングの効果検証と次年度以降の運用方法の検討

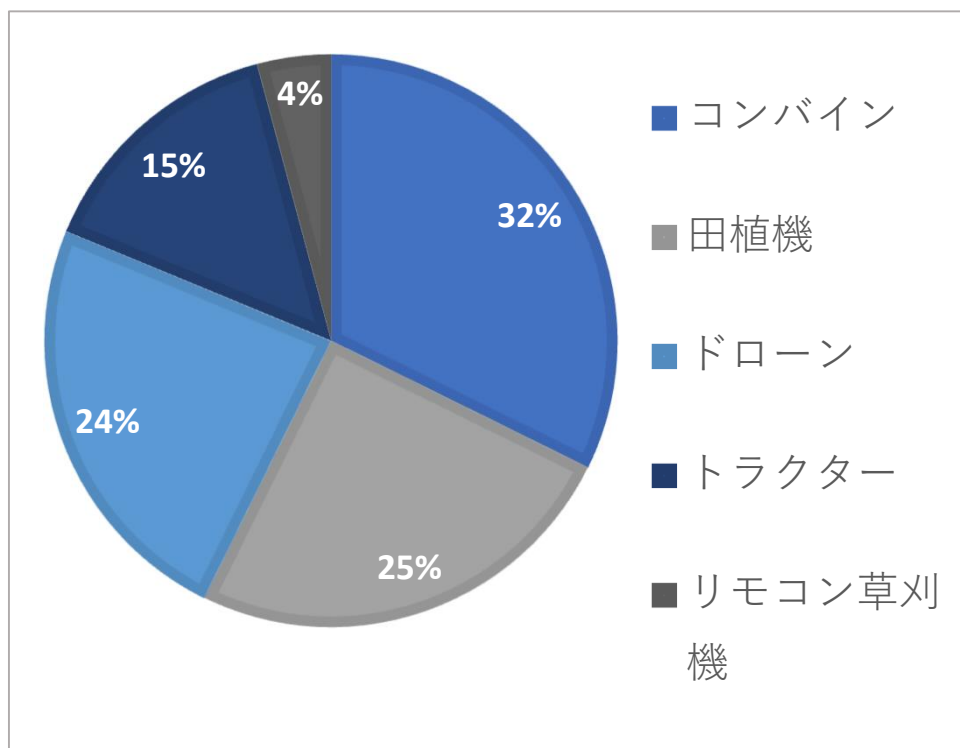
シェアリングには利用者
同士のルール作りが重要です。



令和5年度兵庫県のスマート農業普及に向けた取組

スマート農業機械導入支援について

農業生産コスト低減緊急対策事業によって
導入されたスマート農業機械の割合



農業経営課調べ

● 補助事業の効果と課題

補助事業によってスマート農業機械が導入されたが今後のメンテナンス等を含めた費用対効果の検証が必要。

● スマート農業機械導入時のポイント

兵庫県HPで「兵庫県農業機械導入ガイドラン」を掲載中。農業機械の効果的な導入の試算を示している。

3月中旬にスマート農業機械に関する記載を追加予定。今後スマート農業機械導入を検討する際には参考にしてください。

令和5年度兵庫県のスマート農業普及に向けた取組

スマート農業に取り組んでいただく際の支援

高価な導入コスト

☆機械のシェアリングの導入支援
産地低コスト化促進事業(農産園芸課)

☆機械導入費の補助
農業生産コスト低減緊急対策事業
(農業経営課)

スマート農業の情報不足



普及センターへ相談
県内の実証情報の提供
や実演会の開催も行い
ます。導入に向けた実
証にも取り組める。

スマート農業を使った課題解決方法の提案

兵庫県スマート農業技術マッチング推進事業(総合農政課)

兵庫県スマート農業技術マッチングプラットフォーム

わく・わく!ひようご!



プラットフォームと民間コーディネーターにより企業と産地を
マッチング。普及センターが産地課題をコーディネーターにつなぐ
役割を担う。

令和5年度兵庫県スマート農業普及に向けた取組

スマート農業に関する情報発信（実証ほの設置）

県内スマート農業関連の実証ほ設置数の推移

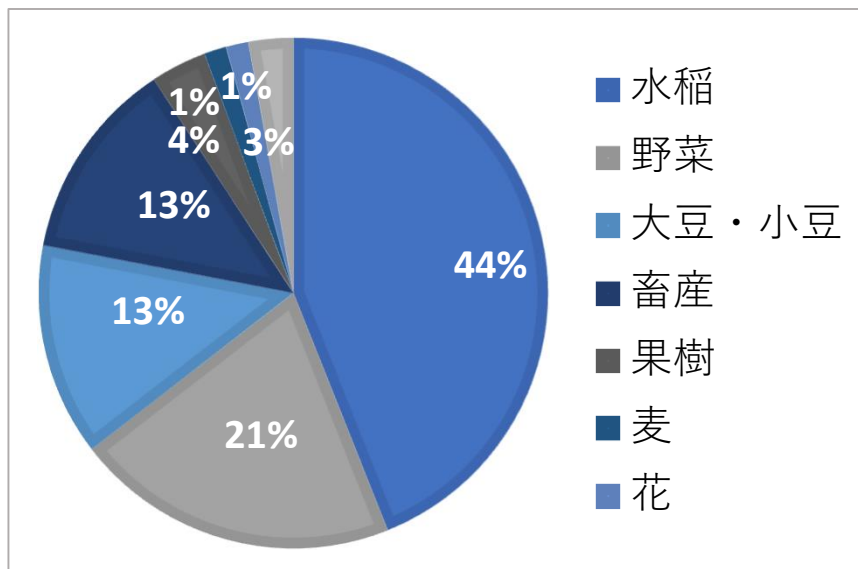
	R2	R3	R4	R5
実証ほ数 (件)	26	35	59	52

- ・ 実証ほは県内で50件以上設置している。

ポイント

普及センターは部会等で報告していますが、情報が欲しい場合は普及センターへお問い合わせください。

県内スマート農業関連実証ほの取り組み品目の割合



- ・ 水稻での実証が全体の4割以上を占め、野菜、大豆・小豆、畜産と続く。

ポイント

技術の導入の前に実証することで効果に満足して技術を導入することが可能になる。

令和5年度兵庫県スマート農業普及に向けた取組

スマート農業に関する情報発信（実演会の開催）

リモコン草刈機
の実演会



びわ園のドローン
防除実演会



ぶどう園のロ
ボット草刈機
の実演会



花農家向けア
シストスーツ
の実演会

令和5年度兵庫県のスマート農業普及に向けた取組

スマート農業に取り組んでいただく際の支援

高価な導入コスト

☆機械のシェアリングの導入支援
産地低コスト化促進事業(農産園芸課)

☆機械導入費の補助
農業生産コスト低減緊急対策事業
(農業経営課)

スマート農業の情報不足



普及センターへ相談
県内の実証情報の提供
や実演会の開催も行い
ます。導入に向けた実
証にも取り組める。

スマート農業を使った課題解決方法の提案

兵庫県スマート農業技術マッチング推進事業(総合農政課)

兵庫県スマート農業技術マッチングプラットフォーム

わく・わく!ひようご!



プラットフォームと民間コーディネーターにより企業と産地を
マッチング。普及センターが産地課題をコーディネーターにつなぐ
役割を担う。

兵庫県スマート農業技術マッチング推進事業

ひょうご五国の多様な地域条件に対応したスマート化を推進

● スマート農業技術 マッチングプラットフォーム “わく・わく！ひょうご！”

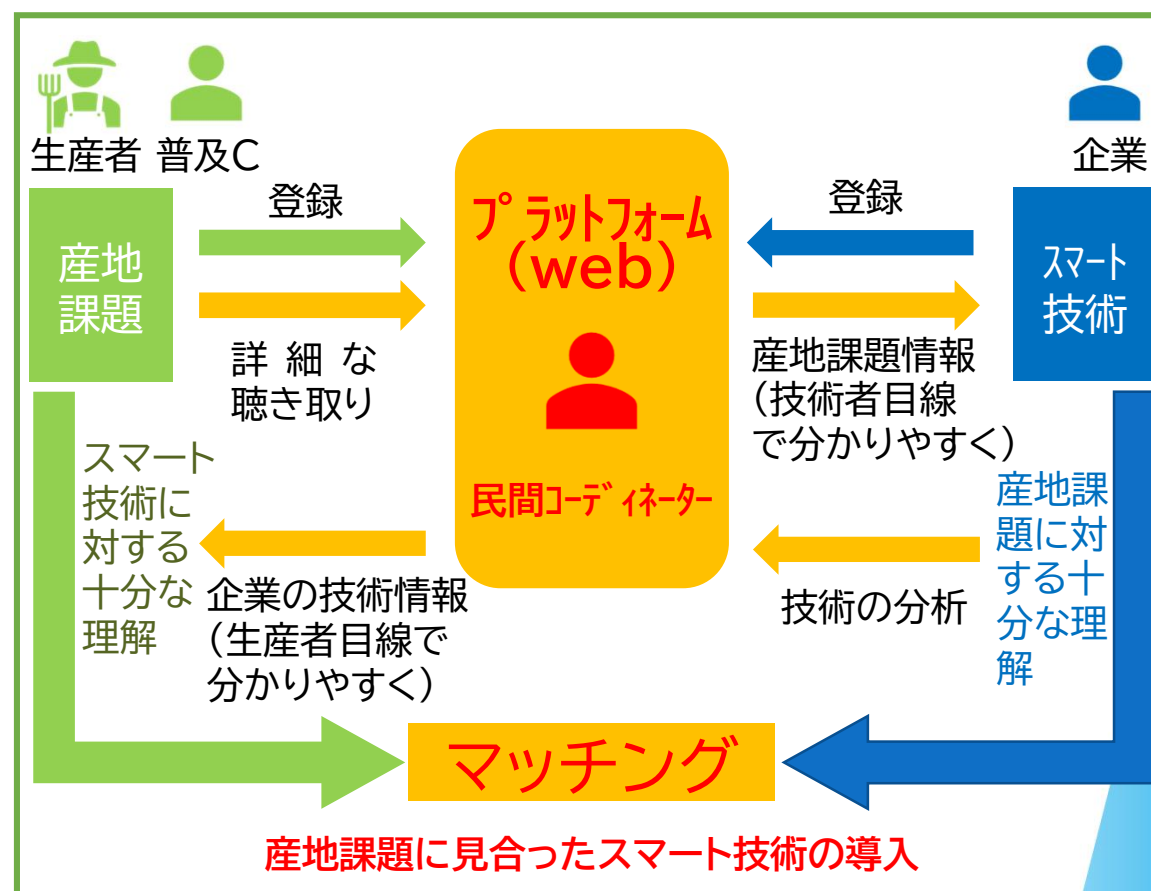
web上にプラットフォームを構築。産地課題や企業が有するスマート農業技術を収集、発信。

● 民間コーディネーター

スマート農業技術の知見を有する民間コーディネーターによる産地課題と企業のマッチング。

● 関係機関の参画

農業改良普及センターや農林水産技術総合センター、県庁関係課が参画してマッチングを実施。市町、JA等の関係機関とも連携。



兵庫県スマート農業技術マッチング推進事業

ひょうご五国の多様な地域条件に対応したスマート化を推進

● プラットフォームの構成



産地課題とスマート農業技術をマッチング
ひょうご五国の多様な地域条件に対応したスマート化を推進

農業産出額が近畿トップ、日本の確固といわれ、ひょうご五国（姫路、播磨、丹波、但馬、淡路）の多様な気候や風土に根ざした多様な農業が展開されている兵庫県。その一方で、全国に比べ高齢化が進行し、小規模で閉鎖的な農業が大半です。このような兵庫県の農業特有の課題とスマート農業技術のマッチングを推進し、課題を解決。農業の基幹産業化、持続的に発展する〜夢食農ひょうご〜を目指します。

NEWS/EVENTS
ニュース・イベント情報

イベント情報

ニュース情報

スマート農業のメリット



兵庫県スマート農業技術マッチングプラットフォーム

わくわく!ひょうご!

事例紹介 スマート農業技術紹介 お悩み解消 産地課題 新着・イベント情報

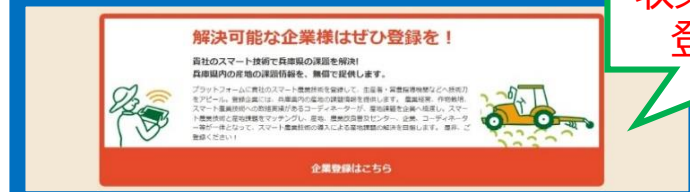


県内他地域への
横展開が可能



生産者・営農指導
機関等へ企業の
技術をアピール

普及Cを通して
収集した産地課題を
登録企業へ提供



生産者にスマート
農業をアピール



兵庫県